

2007

JUN. 1 vol.21

東京成徳広報



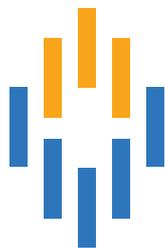
乙亥生まれの東京成徳大学中学校の皆さん



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

| | |
|------|--|
| P 3 | 年頭所感 理事長 木内 秀俊 後援会会長 佐々木 富也 |
| P 4 | 各学校責任者の抱負 大学院 杉原 一昭 人文学部 國分 康孝 子ども学部 深谷 昌志 中等高等学校・幼稚園 木内 秀樹 深谷高等学校 大澤 健 第二幼稚園 中島 諄子 |
| P 6 | 年男・年女のひとこと 『己亥生まれ 癸亥生まれ』 |
| P 7 | ひと『活躍する卒業生』 蕨市議会議長 染谷 一子 静岡福祉大学 藤本 昌樹 |
| P 8 | 社会との交流 『公開講座』『保育研修会』『八千代市福祉祭り』 『心理・教育センター』『十条台図書館』 |
| P 10 | 就職情報 就職課（八千代キャンパス） 学生生活課（十条台キャンパス） |
| P 11 | TOPICS 大学院 大学人文学部 大学子ども学部 短大 中高一貫部 別館高等部 深谷高等学校 幼稚園 第二幼稚園 |
| P 21 | クラブ活動の成果 『中学バスケット3年連続全国制覇』 |
| P 22 | 『秋を彩るイベント』 |
| P 23 | 『学園教員の新刊ご紹介』 |
| P 24 | 『学園創立80周年記念事業寄付金収支報告』 |



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「理想」と「現実」を表す
ブルーの五本の柱は、五つの教育目標を
「活」と「愛」を表した
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員、同窓生を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に集う人々の
コミュニケーションを
作り上げる姿を表現しています。



時代の潮目にあたって

理事長 木内 秀俊

最近では教育を巡って様々な問題・課題が指摘され、議論されています。中身は、教育内容あるいは教育制度に係るものなどなど多岐に渡ります。

改正教育基本法も昨年末の国会で可決されて成立、教育が今大きな転換期を迎えていると感じております。私は教育の見直し自体は、急速に進むグローバル化などの我々を取り巻く環境の変化が必然的にもたらしたものと思っています。

ここで日本人が従来持つている「義理人情」「以心伝心」など感情は、長い年月を経て日本列島で育まれてきたものですが、昨今のグローバル化の進行でこの様な感覚が薄れつつあると感じます。これは一面では危機であるとも言えましょう。しかし歴史を紐解けば、飛鳥時代以前にいわゆる渡来人が多数この列島に来て日本という国

を創る事業に参加しています。国際化・異文化融合は何も現代だけのことでなく、千数百年前もよりの活発に行われていました。聖徳太子の「和をもって尊しとなす」という言葉も、様々な異なる文化・習慣を持つ人々が協力して国づくりをする前提を言ったものでしょう。

我々は、現在の環境変化に対応して未来を築いていかねばなりません。そのためにはこうした千年単位の歴史に学ぶとともに、未来を築く夢と希望を持つことが大事であると思います。

学園も目前の諸課題に全力で取り組みむとともに、長期的な夢と希望を語る学園であり続けるよう更に前進して参りたいと考えております。



揺るぎない立派な国民性を打ちたてよう！

後援会会長 佐々木 富也

選挙が近づくこと決まっていわれている言葉に「改革」と「成長」とがある。この言葉がうたい文句となつてどんどん連発され、国中を騒然とさせている。選挙毎に聞く言葉も終わつて見れば静かになり、ホットするが・・・企業も新年に臨み、「改革元年」とか、「成長率〇〇%を目標」というスローガンをよく掲げる。

私には改革とか成長という言葉は良さそうに思えるし、好きな言葉だが、この頃は少し食傷気味、人々の心に軽薄さがしみついて副産物としていじめ、自殺、首吊り、談合と毎日テレビ・新聞などマスコミが大きく取り上げられているではありませんか。

モラルの乱れ、利己的思考、自己中心的な行動は恥です。戦後の日本人は世界の人々から四等国民といわれた。昭和二〇年夏、進駐

してきたマッカーサー連合軍最高司令官は「日本人は十二歳の子どもに等しい」と語り、天皇陛下に謁見された時も陛下が礼服で威儀をただされているのに通常の軍服、コーンパイプを携え訪問されたという。

そんなふうに評価されていたのは恐ろしくも恥ずかしい。これも軍部の仕業で消すに消せない情けないものだったからでしょう。国民の常識、礼儀作法等々を原点とし、揺るぎない立派な国民性を学び打ちたてて身心の安定した行動を取り戻してくれることを願っています。改革という名の値打ちより、落ち着いた・安定した世の中を望んでいる。皆んな騒ぐな、優れた立派な考え方の人達を見習って良い一等国民となるよう努力しようではありませんか。



新年に思う

大学院心理学研究科長 杉原 一昭

平成十二年度に昼夜開講制の大学院として北区の王子キャンパスに開設して以来、平成十五年度には博士課程が設置され、順調な発展を遂げております。平成十八年度、修士課程は入学定員二十六名に対して二百四名が受験、約八倍の高い倍率でした。本年も多くの現役学生、社会人に受験してもらえよう、大学院の教育研究の充実と効果的な広報活動を行っております。本大学院として誇りに思うことは開設以来修士課程、博士課程とも一人の退学者を出すことなく全員が修了を果たし、広く社会の現場で活躍していることです。又、昨年末に「臨床心理士」受験資格指定校として六年間の継続が承認されましたので、今後とも知識と技能を修得した人材を世に送り出していきたいと思っております。



時代を拓くもの

人文学部長 國分 康孝

教育には志が不可欠である。慶應義塾の福澤諭吉先生もそうであったし、早稲田を創設した大隈重信先生もそうであった。そして東京成徳の菅澤重雄・重義両先生もそうであった。志とは時代に迎合・順応する策ではなく、時代に警鐘を乱打する心意気、あるいは時代を拓くアンビションのことである。成徳という志を現代風に翻訳すると、年令・国籍・職種・地位を超えて「こころと心のふれあいの持てる人間の育成」になると私は思っている。八千代のキャンパスをこの志の実現の場にしたい。これが人文学部長としての私の年頭所感である。



卒業生を送り出す年度です

子ども学部長 深谷 昌志

子ども学部は、今年度最上級生が四年次となり、来春はじめての卒業生を出す予定になっていきます。それだけに、一人でも多くの学生が希望する職種につけるようにきちんとした進路対策をとることが今年度の課題になります。当初、保育園と幼稚園への就職を志望する学生が多いと思いましたが、子どもビジネスや子ども支援の専門職などへの就職を望む学生が増えています。しかし、子どもビジネスの世界は学部にとって未知の領域なので、手探りの感じで、職場の開拓を進めています。他大学の状況を見ると、学部の評価は就職の姿で決まる感じがします。それだけにわれわれも頑張りますが、みなさまのご支援を心からお願いしたいと思います。



新たな一歩を踏み出す

中等学校長・幼稚園長 木内 秀樹

時のたつのは早いもので、創立八十周年記念行事も最近のことのように思っておりましたが、もう二年も前のことになりました。他校の八十周年や百周年という案内をいただくと、学校というものの歴史と伝統の永さに驚かされま

す。各校が現在まで存続してこれたのも「不易と流行」の言葉通り、それぞれの建学の精神を堅持しながら、その時代時代に合った改革を断行されているからだと思われ

ます。本校においては、この十年間において「共学化と学科の再編」という大きな改革を実施し、教職員の頑張りによってようやく今軌道に乗りつつあるところです。しかし現状維持ではなく更に今後の十年間に向けてまた新たな一歩を踏み出さねばなりません。今後は内容の充実と具体的な成果が正に問われることとなりますが、学力



三本柱で不易の歩みを

深谷高等学校長 大澤 健

昨年今年 貫く棒の如きもの(虚子) 一つの時代にも世の東西を問わず不易と流行があります。こと教育に関して貫く棒は特に「不易」でありましょう。

家庭で親が、「人様に迷惑をかけるな、笑われるようなことをするな、恥を知れ、礼儀正しくせよ」と躾ける。

学校では、読み書き算盤をきっちり教え、部活動などで心身を鍛え、多くの友と将来の夢を語る。本校では、成徳深谷高で学んで良かったと言われる学校を目指して、「充実した授業、活発な部活動、明るく楽しいクラス」、この三つを基本柱に、今年も不易の歩み続ける所存であります。ご指導、ご協力のほどよろしくお願ひ致します。春風や 闘志抱きて丘に立つ(虚子)



建学の精神の実現に向けて

短期大学附属第二幼稚園長 中島 諄子

新春の光が、園舎いっぱいに降り注ぎ小鳥の鳴き声と共に平成十九年が静かに幕開けました。今年も昨年に引き続き幼児を取り巻く諸問題が山積するであろうことを考えますと、身の引き締まる思いです。「子は国の宝」と国をあげて様々な施策が次から次へ打ち出される中、保護者の皆様が子育てに奮闘されている姿を目のあたりになると、次代を担う子ども達の幸せを強く願われないわけにはいきません。これからも今まで以上に大学の附属幼稚園としての教育機能を本園の子ども・保護者にもちろんのこと、地域にも積極的に発信できるよう精進してまいります。そして、モラルの低下が言われている今だからこそ、本学園の建学の精神「教育の要は徳育から」の実現にむけて、教職員一丸となつて取り組んでまいります。

年男・年女のひとこと

忙しい毎日を送る年男の夢

深谷高等学校 赤石沢 英安



四十五歳から、スポーツジムに通いはじめた。間隙をついて、週に2度ほどのペースを保っている。

ベンチプレスは八〇kgが挙がるようになった。それもこれも五十五歳になった時、Tシャツの似合う姿で、ハーレーダビットソンにまたがるためである。この年と決めたのは、息子たちが成人に達するからである。ある時は峠を、またある時は海岸線を、ドドドッという低いエンジン音を響かせながら、ゆっくりと転がす。想像するだけでわくわくしてくる。今年四十八歳になるが、夢を叶えるためにも未だまだ老け込むわけにはいかない。ところでバイクの免許はいつ取りにいったらいいのか知らん。

自己修行で和を保つ

短期大学言語文化「ミニテーション」科 山下 琢己



私は昭和己亥の生まれで、本年は平成丁亥です。年男です。そして、あと一回りすると己亥に戻ります。還暦です。過去現在未来、人はある程度、自分の干支に支配されるようです。「己」は「き」、「巳」は「み」

と読みます。私の名は本来の「おのれをみがく」という意味からすると「琢己」とすべきで、「己亥」をも踏まえることになりません。しかし、これでは「たくみ」と読むのに無理があります。そこで「巳（へび）」を使います。「巳」は十二支の第六位で、母親の「己巳」という干支も踏まえます。しかし、これは物心がついてから聞いたのですが、「琢」の本字は王偏ではなく玉偏でこの画数で占うと、頼りになる人がそばにいないと幸運を得られないようです。干支に絡めていうと一生を自己修行と心得てしかも和を保つというのが、抱負になるかと存じます。

今年の目標は、

まず「味見」するんじ

十条台キャンパス図書館 岡澤 朋香



私は幼い頃から食べ物が好き嫌いが激しかったのですが、どうも年々その傾向が強くなってきているような気がします。以前は克服を試みることもありましたが、最近ではすっかり戦意を喪失してしまいました。さらに情けないことに、この傾向は食べ物に限らずあらゆる物事に当てはまるのです。しかし最近気が付いたのは、その大半が「食わず嫌い」だということです。ふと省みると、口に入れる前から

己亥生まれ（男性）

發亥生まれ（女性）

「あれは駄目、これは駄目」と決めておいてしまった経験も数多く思い当たります。見かけは苦手だけれど、食べてみたら意外と美味しかった、なんてモノも実はあちこちに転がっているかも知れないというのに。そこで、今年の目標は「まず『味見』すること。とりあえず何事もひとかじり。好きか嫌いかは、それからゆっくり決めようと思っています。」

子どもたちの目線で

幼稚園 布川 景子



幼稚園教諭は園児にいろいろなことを教えるわけですが、私は常に子どもたちから沢山のことを吸収し、学びとるものがあればと思いがら日々を過ごしています。私は常に子どもたちの目線で話したり、また聞くことのできる保育者でありたいと思っています。そして、元気な子どもたちを見て、私も同じように笑顔で毎日をお過ごしことが出来ればと思います。

きちんとした大人をめざす。

幼稚園 廣瀬 二美



私は最初の年女の時、きちんとした大人になろうと決意した。二度目の年女を迎え「きちんとした

大人」とは何だろうと改めて考えてみた。ひとつだけ分かることは幼稚園教諭として子どもたちの笑顔を守ることが私の仕事だということだ。いっしょに遊んで、笑ってたくさんの思い出を作って、子どもたちに幼稚園は楽しいと言ってもらいたい。子どもたちの笑顔を毎日みられるように一日一日を大切に、私自身も笑顔をやさずに過ごしていきたい。

子どもたちが

元気に登園できる環境を。

幼稚園 佐藤 友美



私は年少組の担任ですが、日々子どもたちが幼稚園に元気に喜んで登園できる環境を作っていきたいと思つています。その為に大切なのは、保育者との信頼関係が大切になってくると思っています。信頼関係を築く為に子どもの気持ちに共感し、一人ひとりの心に寄り添った保育ができるように心掛けています。子どもたちの笑顔があふれる毎日になるよう猪突猛進で頑張っていきたいと思つています。

ひと

活躍する卒業生

蕨市で初の女性市議会議員 染谷一子さん



埼玉県蕨市は、首都東京に隣接し、重要な近代都市として第四次蕨市総合振興計画を策定し「歓びあふれる交流（ふれあい）のまちわらび」の実現に向け諸施策を推進中です。市議会長の要職で活躍されている染谷一子議員にお話を伺いました。

①高校在学中に強く印象に残っていることは

木内四郎兵衛校長は、朝礼でよく、学校には「校風」があり、家庭には「家風」がある。それを守ることが大切！と話されていました。（今、この言葉は忘れられていますよね。）

楽しかった思い出は部活動です。私は演劇部に所属していましたので、文化祭の準備には夏休み返上で頑張りました。中・高いつしよでしたから、先輩から仕事を頼まれると嬉しくて、夢中でやっていました。

②市議会議員を志された動機は

蕨市男女平等推進市民会議が発足し、

「女性を議会に！」と提言しながら実現のために努力していきたくて、自分の手を挙げようと、反対する夫を「一度しかない私の人生だから挑戦させて」と説得しました。選挙活動は、市民会議のほとんどの方が、今までの地域との関わりがあまりで、会としての応援はありませんでしたが、一位で初当選できたことは、自信となりました。

③議員活動として、これからどんな問題に力を注がれますか

当選以来、青少年問題を一般質問で取り上げてきました。学校給食の地産地消（当市は沢山の農作物が収穫できますので）、合宿通学、早寝早起き朝ごはんの食育問題、ノーテレビデー、ノーゲームデー等などにこれからも取り組んでまいります。蕨市議会としては、初めて女性議長となり厳正公平な立場をとるために、会派を抜け、一人会派となりました。いろいろな考え方がありますが、私はそうすべきと思います。

④母校の後輩に望まれることは

「信頼」の二文字を忘れていませんが、先生を信じ、友を信じ、お互いに信頼することが大切です。それがみなさんの「宝物」となります。今の時間をだいにしてください。教室から、笑顔と笑い声が絶えないで欲しいと心から声援を送ります!!

東京成徳大学での経験を振り返って

藤本 昌樹

私の原点

東京成徳大学在学中は、様々な経験をし、多くを学んだ。限られた紙面では書き尽くせぬほどである。しかし、一言で言うならば、東京成徳大学での経験は、私の原点だと思っている。そもそも私は、東京成徳大学の第一期生になる。大学入学当時の私は、大学でどのような勉強をするかなどはつきり解からないままに大学に入学した。思い返せば、これが人生の大きな転機だったように思う。

大学での四年間

八千代キャンパスでの四年間は非常に充実したものであった。ボランティア系サークルであるBBSの初代会長を務めさせて頂く機会も頂き、また多くの先生方からは、他の大規模大学では考えられない、熱心で丁寧な指導をいただいた。卒論では「非行少年の愛着と自尊感情との関連」というテーマで研究し、指導教員の高野清純先生からは、公私にわたりご指導を頂いた。お陰で、何となくではあったが、将来の方向性も見えてきたように思う。このような機会が得られたのも、東京成徳大学に入学したからだと思う。

東京学芸大学大学院にて

大学卒業後は、東京学芸大学大学院へ進学することになった。（東京成徳の大学院は開設していなかった。）心理学を専攻してさらに研究・臨床活動を行うために進学した。修士論文では「成人愛着のプロトタイプ理論による検討

—愛着と家族表象・精神的健康との関連—というテーマで研究・執筆した。

実社会での活動・今後の課題

大学院修了後は、再び東京成徳大学に研究助手としてお世話になった。助手としての在任中には、貴重な経験を多く積んだ。助手として3年たった頃には、2年後に設置される大学での専任講師として採用されることとなり、それを契機に再び母校を離れ、臨床心理士として、電気通信大学や公立の中学校で、職員・学生を対象としたカウンセリング等の心理臨床を行ってきた。現在は静岡福祉大学で専任講師を務め、しかも、第一期生を相手に、心理学系の科目の教鞭を取りながら、研究と臨床活動を続けている。私の専門は発達心理学（発達精神病理学的研究）・臨床心理学であり、研究テーマは「乳幼児から成人に至るまでの精神保健」と「心理療法の効果」の研究である。教える側になり、やっと独り立ち出来るようになった。



専修大学附属高等学校卒業・本学福祉心理学科卒業

社会との交流

公開講座子ども・生徒問題シリーズ⑧ 「子どもの成長と学校」

木内学長 開講あいさつ

子ども学部の公開講座は、八月一日（火）から三日（木）までの三日の日程で、全国から一〇〇名を超える受講者を迎え、本学多目的ホールで盛大に開催された。第三回となる今年度は「子どもの成長と学校」を共通のテーマとし、バスターナー「下流社会」の著者・三浦展先生とAHEADの研究で全国的に知られる上野一彦先生（東京学芸大学）などを迎えて、子ども問題について熱心な講義と活発な討議が行われた。



講義題目と講師名は

- 八月一日 総合司会 吉江正雄（子ども学部）
- 1 「二ト世代の生き方を探る」 三浦展（カルチャーデザイン研究所）
- 2 「教育における情報処理利用の功罪」 川合治男（人文学部）
- 3 「子どものレジリエンスを育てる」 深谷和子（子ども学部）
- 八月二日 総合司会 吉川好昭（子ども学部）
- 1 「障害児と健常児との間」 堀利明（子ども学部）
- 2 「居場所としての学校の考察」 深谷昌志（子ども学部）
- 3 「対人関係ゲームの理論と実習」 田上不二夫（筑波大学）
- 八月三日 総合司会 神長美津子（子ども学部）
- 1 「千と千尋」を精神分析的に読み解く」 木部則雄（百合女子大）
- 2 「LDとADHDの基礎的な理解」 上野一雄（東京学芸大）
- 3 シンポジウム「学校がすべきこと・学校にできないこと」

基調提案 永井聖二（子ども学部）

パネリスト 谷野敏子（堺市小学校） 安田勝彦（北区議会）
有村久春（昭和女子大） 上野一雄（東京学芸大）

（発表順）

今年度から公開講座の講義内容を子ども学部のホームページに収録したので、参照してください。なお、次年度も、二〇〇七年八月一日（水）から三日（金）までの三日間の開催を予定しています。ご期待ください。

「今保育を見直す」

有意義だった第二十回保育研修会

幼児教育科の主要行事、卒業生を主とした保育研修会が十一月十八日土曜日に実施されました。今年で二十回目を迎え、学長先生を始めご来賓の先生方をお迎えし、内容の濃い研修会が行われました。



この研修会は、卒業後の就職先である保育所、幼稚園、施設などに勤める保育者を対象に、年一回リカレント教育として本学が実施しているものです。学園と卒業生との縁を繋ぎ、教職員と親しく再会する場としての役割もあります。

また在学生の参加も募り、年々増加しています。今年は「今、保育を見直す」をテーマとしました。急速な社会変化の進む中で、今日的課題とされている制度や幼児教育の基本的考え方など、実践保育者や園長先生方が求めている課題について、六つの分科会を開催しました。この保育研修会は、成徳学園の精神である「徳をなす学び」を意図としています。オープニングコンサートでは、非常勤講師の板本緑先生のソプラノと民秋彩先生のピアノによる「だれもわすれたそのはじめての日のことを…」（まど・みちお詩、板本勝自作曲）演奏があり、やすらぎの一時から研修が始まりました。基調講演では、腹話術協会の池田武志先生からコミュニケーションの大切さを学び、午前の部を終了した。午後は六つの分科会に分かれ、熱心な講義や全員参加型、実技指導が行われ有意義な一日となりました。分科会のポイントを一部ご紹介いたします。（教授 安見克夫）

「幼少教育のあり方」現在問題となっている「小一プロブレム」について実情を具体的な事例を通して説明した。幼稚園・保育園の生活から小学校生活の心の切り替



えは六歳の子にとって難しい。特に生活中心から教科中心の学習は慣れるまで時間がかかりそうだ。そのような問題を解決するためには幼児教育の立場からどうしたらよいか、指導者の心づかいや保育方法等を分かりやすく伝えた。（教授 青木靖）

「二歳児保育の指導と援助」二歳児とは物の奪いあい、かみつき、こだわり等のトラブルや葛藤体験の大切さを学ぶ時期。感情の育ちと友だちへの関心、更に人と一緒に生活することの楽しさを実感できる子どもたちの自律の育ちを参加者全員で考えてみました。（助教授 寺田清美）

「子どもの自主性・自発性を活かすための創作劇の創り方と発表のあり方」について

- ①生活や友達とのかわりに自信がもてない子どもが多い学級の事例
- ②園生活の経験を組み合わせ、一人ひとりの子どもを主役にした劇を創る事例
- ③教師の得意なことを上手に活かしながら劇をまとめしていく。

この三事例をもとに、子どもの潜在能力をいかに引き出し、魅力的に見せるかを話し合いました。

（助教授 松本純子）

「造形展へ向けておもしろ作品作りアイデア」ペイント・プリント・リペーション！造形展や行事に向けた水性絵の具の活用と展開——絵画制作を通じて現職保育者の先生方に新しい水性画材と技法展開をご紹介します。プリントコーナーでは東京芸大研究助手の成清美朝先生を講師にお迎えし、水性アルキド絵の具を使ってスチレン版画製作を行いました。またペイントとリペーションのコーナーではアクリル絵の具と不織布を使い、十二メートルの巨大絵画製作を行いました。

（講師 杉本亜鈴）

第十二回 とっておきの福祉まつり 本学学生がボランティアで活躍



されることになりました。

福祉心理学科では毎年二年生の授業の一環として、地域の福祉まつりの業務を応援しています。本年も中山教授・今中助教、学生七十名が参加しました。八千代福祉センターに朝八時十五分に集合した学生は係ごとに分けられ、朝十時の開会に合うよう準備に大奮闘。特に氷雨降る中、中山先生がテントの組み立てを率先して学生に指導、出店補助、会場入り口での立番・車両誘導など屋外で活動する学生は大変でした。十時～十五時までハンディ体験コーナーの補助、保育部屋での子どもの世話など各係毎に地域の福祉まつりの業務に携わり、学生にとっては貴重な体験、実り多い一日でした。



この福祉まつりは毎年十二月九日「障害者の日」に合わせて開催されています。一九七五年十二月九日に国連総会にて「障害者の権利宣言」が採択され、この日を「障害者の日」としています。本年からは八千代市福祉ネットワークによって主催

大学院心理教育センター お気軽にご相談ください

本センターは、乳幼児から高齢者の方々まで幅広いご相談をお受けしております。開室期間は、月曜日から土曜日十時～二十一時までと広く設定されており、利用しやすくなっております。

相談の担当は本学大学院臨床心理学担当教員と臨床心理学を専門に学ぶ大学院生が行います。子どもの学習上の問題や進路の悩み、不登校や発達の遅れに関する相談、性格や気分に関する悩み、家族（親子関係・夫婦関係）や対人関係の悩み、仕事上の問題など幅広いご相談をお受けしております。

相談は有料です（学園関係者の方は1回につき一、〇〇〇円～一、五〇〇円です）。地域の学校や公共施設と連携し、さらに利用しやすいセンター作りを目指していきたいと思っております。



新時代の情報館 ICT関連の機能強化、 電子化を推進中 十条台図書館

二〇〇三年に新築されたこの図書館は、一階から二階まで吹き抜けの空間と、全面ガラス張りの明るく開放的で、しかも落ち着いた雰囲気施設の施設です。

当図書館は新しい時代の情報館として位置付けられ、いつでもどこでもアクセス可能なネットワーク環境などICT関連の機能が強化されています。また十条台キャンパスで展開される教育・研究活動の支援を目的にカリキュラムに沿った専門分野の資料を中心に収集しています。

現在、図書館所蔵の貴重資料の保存と共有のために資料の電子化作業を行っています。今年度は当学園の短大・東京教育大学名誉教授鎌田正先生より寄贈された資料約三、〇〇〇冊（先生の号に因んで「東陵文庫」と命名）の全目録と「公羊傳」「穀梁傳」「春秋経傳解」の三つの資料の全文画像とを図書館のホームページを通して広く一般公開する作業を進めています。今後もデジタルアーカイブとして電子化した資料を中心に保存・管理・情報提供をしていきたいと考えています。

（ホームページ）<http://www.tsu.ac.jp/library/>



就職状況

【就職課】（八千代キャンパス）

本年度の就職戦線は、景気の回復と来年度から始まる団塊世代の大量退職を控え新卒大学生に対する求人倍率も一・九倍迄回復し、学生にとっては追い風が吹く中での就職活動となりました。この様な状況を反映して、就職内定率は、十一月現在、昨年に比べて5%程度高いペースで推移しています。

就職課での実感として、しっかりと目標意識を持ち、数回の就職試験失敗にもくじけずに粘り強く活動した学生は、ほぼ全員就職内定を獲得しています。しかし、特定の業種職種に過度のこだわりを持っている学生、未だに就職について迷っている学生などについては、内定獲得が困難である状況は昨年と変化ないようです。

【Web就職サービス】スタート

本学へ送付されて来た求人票は、従来は就職課にて閲覧するのみでしたが、昨年四月以降、自宅のパソコンで求人票を検索し、印刷も出来るようになりました。学生にとつて就職活動が格段に便利になりました。

キャリアデザイン

本年度から「キャリアデザイン」が必修科目として始まりました。入学直後の前期に一年生全員が、自分を知る・社会を知る・仕事を知るなどをテーマに自分らしい生き方を模索し、大学四年間の有意義な過ごし方をデザインしました。三年後の就職活動に大いに役立つことが期待されます。

| 過去3年間の主な就職先50社 | |
|------------------|------------------------|
| 青山商事(株) | (株)千葉興業銀行 |
| 曙ブレーキ(株) | 千葉市(保育職) |
| エスエス製薬(株) | 千葉スバル自動車(株) |
| オイス工業(株) | 千葉トヨペット(株) |
| (株)大塚商会 | 東光電気工事(株) |
| (株)小田急トラベル | (株)トーカイ |
| 鹿島建設(株) | トリンプ・インターナショナル・ジャパン(株) |
| (医) 露水会 土浦厚生病院 | 成田市農業共同組合 |
| (株)カワチ薬品 | (株)西川 |
| 近畿日本ツーリスト(株) | 日本郵政公社 |
| (株)クレディセゾン | ネットトヨタ東都(株) |
| (株)群馬銀行 | 東日本電信電話(株) |
| コスモ石油(株) | ブックオフコーポレーション(株) |
| (株)コナカ | (株)ポイント |
| (株)コムスン | (株)ミキハウス |
| 埼玉県警察 | (株)ミスターマックス |
| (株)ザ・トーカイ | みずほフィナンシャルグループ |
| 三和シャッター工業(株) | (株)ヤマダ電機 |
| (株)しまむら | (株)ユザワヤ |
| (医) 聖母会 聖マリア記念病院 | (株)ライフコミュニケーション |
| (福) 誠友会 佐倉白翠園 | リゾートトラスト(株) |
| ソフトウェア興業(株) | (株)りそな銀行 |
| 千葉県警察 | (株)レオパレス21 |
| (福) 千葉県社会福祉事業団 | (福) ロザリオの聖母会 |
| 千葉県中央児童相談所 | (株)ワコール |

【学生生活課】（十条台キャンパス）

(1) 一般企業への就職状況

例年様々な業界からたくさんの方をいたただいておりますが、特に本年度の一般企業への就職状況は昨年度以上に好調に推移しております。十一月二十日現在、就職希望者に対する就職内定者の割合（内定率）は、言語文化コミュニケーション科では六一%、ビジネス心理科では八一%となっておりますが、未内定の学生たちもまだ積極的に就職活動しております。

本学では教職員一体となつて、一年生後期から自己分析・外部講師による講演・筆記試験対策などを行うと共に、学生一人ひとりに対して個別指導を行い、それぞれの学生に合った仕事を紹介するなどきめ細かく就職支援をしております。またビジネス心理科では今年度からインターンシップ制度を導入し、十三名の学生が参加しました。

(2) 幼稚園・保育園・施設などの状況

幼児教育科では例年、保育職・一般企業への就職・進学を含めて卒業生の九十パーセントが進路を決定しています。卒業生の八十パーセント超が保育職として巣立っています。保育職の就職活動は秋以降が本番で、学生たちは現在一生懸命就職活動に打ち込んでいます。滑り出しは上々で、今年度も良い結果を出せそうです。

保育系就職に関しても、教職員一丸となり、一年生後期からきめ細かく進路支援を行っています。園長等、外部講師による講演も行い、保育技術だけでなく、社会情勢を理解し、子どもの気持ちを理解し保護者の支援もできる、即戦力となる学生を養成しています。

| 過去3年間の主な就職先50社・園 | |
|-------------------|-----------------|
| 一般企業 | 幼稚園・保育園など |
| (株)伊勢丹 | 上尾市 |
| 池野通建(株) | 板橋区 |
| (株)エイチ・アイ・エス | 市川市 |
| SMC(株) | 浦安市 |
| (株)小田急百貨店 | 川崎市 |
| (株)オンワード樞山 | 世田谷区 |
| 川口信用金庫 | 取手市 |
| 北野建設(株) | 習志野市 |
| 近畿日本ツーリスト(株) | 東久留米市 |
| 倉敷紡績(株) | 山王幼稚園 |
| (株)京王百貨店 | 篠崎若葉幼稚園 |
| コクヨオフィスシステム(株) | 白梅幼稚園 |
| (株)三陽商会 | 駿河大学第一幼稚園 |
| 城南信用金庫 | 東京成徳短期大学附属幼稚園 |
| (株)JT B首都圏 | 東京成徳短期大学附属第二幼稚園 |
| 東京ベイ有明ワシントンホテル(株) | みやおか幼稚園 |
| (株)なとり | 大和幼稚園 |
| 日本アンテナ(株) | 一之江保育園 |
| (株)フランドル | 王子隣保館保育園 |
| (株)ファイブフォックス | 越谷保育園 |
| マルイグループ | 小山保育園 |
| (株)三菱東京UFJ銀行 | 浜竹保育園 |
| (株)ミリアルリゾートホテルズ | 東十条保育園 |
| りそなグループ | 星美ホーム |
| リンテック(株) | |
| ロイヤルパインズ(株) | |

大学院

第5回サマースクールを開催



地域の小学生を対象にした大学院主催のサマースクールも今回で第五回目を迎えました。八月七日（月）から十二日（土）の五泊六日の日程で本学園研修施設「戸隠グリーン」において開催し大成功の内に終了しました。子どもたちの参加も四十四名と大幅に増え、スタッフとして教員・院生・学部生計三十九名が運営にあたりました。最終日の前日には保護者十名が宿泊体験し、短期間でたくましく成長したわが子の元気な姿に大感激でした。

期間中は「鱒のつかみ捕り」、「花火大会」、「キャンプファイヤ

い恒例の「もちつき大会」が開催され好評を博しました。
（教授 石崎一記）

「川遊び」、「オセロ大会」「流しそうめん」「山登り」など楽しい有意義な行事が続き、参加者一同、実戦・実習に実り多いサマースクールでした。スタッフで参加した院生や学部生はいま、サマースクールで子どもたちと楽しく過ごした体験や学習をもとに、臨床心理学や発達心理学の視点から論文（修論や卒論を含む）にまとめようと意欲的に取り組んでいます。また、一月十四日にはサマースクールに参加した子どもたちや保護者を大学院に招いて恒例の「もちつき大会」が開催され好評を博しました。

大学院

修士論文中間発表会



現在、大学院の修士課程に学ぶ二年生二十七名が鋭意取り組んでいる修士論文の概要を発表しあう「第二回中間発表会」が、去る十月十四日（土）王子キャンパスで大学院担当教員、修士課程一年生及び博士課程の院生の参加も得て開催されました。

今回の中間発表会は五月十三日（土）に続くものです。発表者はレジメを用意すると共に、論文要旨をポスターにまとめて発表するポスター・セッション形式で行われました。教員や院生は各発表者のポスターを前に熱心に質疑応答したり、活発に意見交換を行いました。大学院の各教員から厳しくも暖かな指導・助言が寄せられ中間発表会は成功裡に終了しました。この後、修士二年生は十一月三十日（木）までに論文題目を、一月十九日（金）までに修士論文を提出し、一月二十七日（土）に開催される「修士論文発表会」(最終試験)に臨みます。

なお、博士課程三年生（三名）は一月十九日の論文提出に向けて現在論文執筆に頑張っております。

人文学部

平成十八年度人文学部リーダーズトレーニング

部活動・サークル活動の活性化に向け、熱く討論！

学生部長 青柳隆志

戸隠グリーンにおいて七月三十一日から八月二日の二泊三日で各課外活動団体のリーダーが参加するリーダーズトレーニングを開催し、二十八団体から学生四十九名、教職員九名の計五十八名が参加しました。このリーダーズトレーニングでは、各課外活動団体が抱える問題の解決や活性化させる工夫の共有を目的として、グループに分かれ、活発な討議が初日から行われました。二日目にはグループ毎の発表があり、学生と教員から活発な質問が出され、予定の時間をオーバーするくらいでした。その後はドッチボールを楽しみ、長



く頭をつき合わせていた時間から解放され、生き生きとボールを投げ、またコートの中を逃げ回っていました。夜は初日、二日目とも懇親会を開き、ざつくばらんな交流の輪があちこちに開いていました。何よりもこれがよかったという学生もいて、宿泊研修の大切さを改めて感じたひと時でもありました。三日目は翠樟祭の盛り上げ策について実に様々なおもしろい提案がなされ、フレッシュな頭脳で考える学生たちを頼もしく感じました。今回は岡村課団会議長のもと、役割毎にチーム編成し、教員の指導下、できる限り学生の自主的な運営を尊重しながら実施しましたので、参加した多くの学生のリーダーシップスキルの向上につながったと思います。

(日本伝統文化学科助教授)

今年度のリーダーズトレーニングは、学生委員会の先生方、学生課の職員の方々のバックアップのもと、学生が企画運営を担い、自主的精神に溢れたものとなりました。この体験を活かし、これからの活動を活性化させて行きたいと考えています。

課外活動団体会議副議長 夫文サークル

日本伝統文化学科三年 瀧澤良輝

人文学部

八千代キャンパス体育館リニューアル

バスケットの公式戦で

「こけら落とし」

室内スポーツだけでなく各種行事に活用されている体育館の床が全面張替えられました。

天井が高く、バスケットコートが二面とれる一、二二五㎡と広い床を張り替え、さらに一／一〇秒の表示が可能な電光得点表示装置が二カ所に新設されました。こけら落としとして、九月十六日(土)関東バスケットボールリーグ三部の公式戦が行われ、第一試合で本



県立実務高等学校出身(千葉県) 三日間の話し合いは正直キツかったけど、とても充実していました。なかでも、議題についての考察の仕方やまとめ方の手順を先生方からアドバイスいただき、話し合いもスムーズに進めることが出来ました。この経験で得たものを

学は東京大学に快勝致しました。この床は天然の木目で、耐久性に優れ、美しく仕上がる単板積層フローリング材を使用しています。「バスケットの公式戦は木材フロ

リングが原則、このコートは県内でも高い評価をいただいた。公式戦や国体の予選にも使える」(川北監督談)、「今までのコートに比べ、滑ることがなくなった。非常にプレーしやすい」と選手にも大好評です。バスケットボールのみならず、他のクラブ・サークル

今後活かしていきたいです。ハンドメイドサークル

日本伝統文化学科二年 和田奈奈美
県立船橋豊富高等学校出身(千葉県)

ル活動にも大いに役立つことでしょう。

人文学部

福祉先進国北欧・スウェーデンへ研修旅行

国際交流委員会・福祉心理学科の企画で、本学の学生が初めて福祉先進国である北欧に研修で訪れます。長寿国スウェーデンの高齢者対策や少子化対策、充実した医療保健制度などについて学びます。大学で講義を受けたり、総合病院・ナースینگホームの訪問、現地の学生との交流会も予定されています。二月二十六日～三月五日までの八日間のプログラムマネジメントはスウェーデン・ヘルスケア社のご協力をいただき、同国第三の都市マルメ市も後援協力をしてくれます。本学からは中山教授が引率し、石田助教授、玉川助教授、朝木助手、学生二十数名が参加します。石田先生は大学・大学院在学中に北欧最大の研究機関ルンド大学に通算三年間留学され、滞在中は複数の方が通訳をしてくれ、施設見学や

子ども遊ぶ時は3〜4人に一人通訳がつき十分なコミュニケーションがとれるよう配慮されています。事前研修もスウェーデン語の練習にはじまり（石田先生が簡単な会話プリントを準備）、英語は玉川先生の特訓、研究テーマの

「少子化と高齢化」については日本とスウェーデンの比較ができるよう勉強中です。わが国で年々深刻化、社会問題となっているテーマの研究・研修だけに大きな成果が期待されます。

子ども学部

「子ども学」とは（リレー連載①）

子どもの声を聞きたい

—子ども研究を始めた頃—

学部長・教授 深谷昌志

子どもは幼いので、一人前の判断力を持っていないと見なされがちだ。加えて、家庭では親の庇護のもとで暮らしているし、学校では教師の指導を受ける。それだけに、子どもの声は軽視されやすい。そうした一方、童心礼賛のように、子どもの純粹さを高く評価して、子どもの声を神聖視する人たちもいる。

一方は子どもの心を軽んじているが、他方は過大視している。そのため、子どもの感じていることが社会に正確に伝わっていない。そこで、子どもと接する中から、等身大の子どもの姿をとらえ、子どもの声を大人に伝える。いわば、子ども社会と大人社会とを結ぶ通訳のような役割を果たしたいと思うようになった。

子ども学部

実習・研修旅行体験記

学部で二年次から四年次にかけておこなう実習、一年次の韓国研修旅行、三年次のアメリカ西海岸研修旅行の体験記です。

自分なりの保育観が見えてきた

子ども学部三年 長嶋夏子



保育所実習では、乳児から五歳児までのクラスに配属され、さまざまな発達を観察することができました。一方、施設実習では、肢体不自由施設に行きました。施設は想像以上に明るく、二度目の実習ということもあり、自分から職員の方に質問をしたり積極的に話しかけることができました。また、施設を利用する子どものお母さんや職員の方も話しかけてくれ、障害のあるお子さんを理解すると同時に、障害のあるお子さんを育てる家庭や施設の背景を知ることができ、勉強になりました。実習は、やはり実習してこそ分かることが沢山あります。知らないや質問をすることもできません。実習を重ねる中で、私は自分から質問し知りたいことを学ぶ重要性を実感しまし

た。また、いろいろな関わり方を自分で発見し、工夫する楽しさを見つけました。自分の子どもとの関わり方を見つめ直すことができ、自分なりの保育観がみえてきたように思います。

都立文京高等学校出身（東京都）

相手の立場を尊重し、学ぶ姿勢が大切

施設実習担当講師 那須野三津子

保育士は、何らかの事情で、家族以外の人と生活している方の生活を支援するための専門職でもあります。施設には、そこで生活をしている方々がいいます。実習のために知らない人が自分の家に十日間来ることを想像すると分かります。ですので、相手の立場を尊重し学ぶ姿勢が大切です。実習を経験した学生から話を聞くと、個人の生活に入り込んでいく重みを理解しながら、様々なことを吸収していると感じております。

アメリカ研修旅行を終えて

子ども学部三年 星絵美

私にとってアメリカ研修旅行はとても思い出深いものになりました。中でも幼稚園、施設の見学で実際に子ども達と触れあい、保育



▲アメリカ研修

真の国際交流とは

子ども学部三年 千葉一登

アメリカ研修旅行へ行くにあたって、英語が話せなくても本当地の人と交流ができるのだからかという不安がありました。しか

し、いざ訪問してみると、言葉の壁はさほど厚いものではありませんでした。子どもと鬼ごっこをしたり、滑り台をしたりして遊んでいるうちに、なんとなく意思の疎通ができ、互いに笑顔になることができ、互いの社会や文化を理解し、繋がりを持とうとする気持ちが最も大切であると痛感した研修旅行でした。

県立春日部東高等学校出身（埼玉県）

日本とは違う幼児教育

子ども学部一年 菅野 勇作

五日間の韓国研修で最も印象に残った事は、韓国の幼児教育でした。幼児がグループで話し合い、意見をまとめる・・・当時の私からは想像がつかない発達ぶりです。「薬を飲み、動物に変身できるか否か」という話し合いのテーマに対して、「○○に変身したい」という子どもらしい意見がありますが、そのような意見をもつ幼児に、教師が活動の終わりに「変身はできない」と現実を伝えます。こういった学習を幼児が行うと聞いて驚きました。教育熱心な韓国の一面を見た思いがします。隣国だから日本とほぼ同じ教育制度だと考えていましたが、そのようなことはありませんでした。子ども



▲韓国研修

本以外の教育を視察した私にとっては、大きな刺激であり、本当に貴重な体験でした。また国が異なり言葉は通じない中で、韓国の学生ダンサーといっしょに踊ったことは、忘れられない体験です。国を超えて共有しあえるものがあるということとは素晴らしいと思います。

私立和光高等学校出身（東京都）

の空想を重視する日本と違って現実的な韓国の幼児教育。私は典型的な日本人なので、韓国の教育は不思議に思いますが、それはお互いとも知れませんが、ただ、海外の教育の一面を知る事は大切だと思います。それに気付く事ができたので、この研修は私にとって貴重な体験となりました。

私立浦和美業高等学校出身（埼玉県）

大きな刺激、貴重な体験

子ども学部一年 柳瀬 嗣子

韓国の大学、幼稚園、児童福祉施設、小学校を訪問し、日本とはまた違う韓国の教育の現状に直接触れ、見て聞いて、多くのことを知ることができました。初めて日



▲韓国研修

短大

国内旅行業務取扱管理者試験

一年生の平井さん、後藤さんが合格

近年非常に人気を博している旅行業界、その旅行業務を行うには旅行代理店が各営業所ごとに国家資格をもつ人の常駐が義務付けられています。その国家資格「国内旅行業務取扱管理者」の資格を得るには、年一回実施される国家試験に合格しなければなりません。この試験は国土交通大臣が行い、(社)全国旅行業協会が実施します。この試験に言語文化コミュニケーション科で観光を学ぶ一年生二名が見事合格しました。

平井 麻美

「国家試験の勉強は、観光関連の仕事を目指す私にとってとてもためになるものでした。この資格をステップに、さらに自分を磨いていきたいと思っています。」

後藤 由里子

(秋山秀一教授)

都立隅田川高等学校出身（東京都）



後藤由里子さん（左） 平井麻美さん（右）

MEMO

二十一世紀の成長産業と言われる旅行業界、この国内旅行業務取扱管理者資格は、国家資格です。から年齢・学歴・実務経験を問わないということですが、誰でも受験できます。しかし平成十六年、十七年とも合格率は三〇%前後と狭き門です。海外旅行を取り扱うためには海外旅行業務取扱管理者の資格が必要です。

短大

第二十七回全日本短歌大会学生部の

秀作賞 阿曾さん、佳作に徳武さん入選

全日本短歌大会（主催・日本歌人クラブ、後援・文化庁、毎日新聞社）は毎年四月に応募を締め切り、学生の部は六月下旬に学校宛結果が郵送されました。全国規模の学生向きでは、唯一のコンクールです。

メールより

あなたの声が聞きたくて

留守電入れず電話を切った

踏み切りを

待つ時間さえ惜しくって

スルッとくぐり抜けた青春

阿曾千秋

言語文化「コミュニケーション」科

平成十八年三月卒

「今回秀作賞を受賞することができ大変嬉しく思います。受賞した作品は、短歌という授業で創作した作品の中のもので。授業では、自分の創った短歌を集めて、作品集を作ったりして、創作の難しさや、素晴らしさを学ぶことができました。これからも創作にチャレンジして、自分らしい作品を創っていかうと思います。」

都立大山高等学校出身（東京都）

MEMO

短歌は和歌の一形式で三十一文字・五句が成立したのは記紀歌謡の後期、仁徳天皇（四世紀）の頃と推測されています。奈良時代に

は長歌に対して短歌、平安時代以降は漢詩に対して和歌、明治時代後半からは新体詩に対して再び短歌と呼ばれています。

短大

読売書法展へ入選！

現役学生太田さんの快挙

読売書法展とは、古典・伝統の書を継承し、発展、向上を図るため、最高水準の公募展を目指して一九八四年に発足しました。公募展の最難関と言われ学生の入選は極めて困難な状況です。大田さんの作品は二四〇cm×六〇cmの大作。中国、明代の詩人何景明の五言絶句の六首一二〇字を行書で四行に記されています。行間に漂う澄んだ明るい響きが印象的な作品

です（樋口信夫教授評）。この作品は東京展、サンシャイン文化会館会場に八月十三日～十九日にかけて陳列されました。太田真紀子さんは「私は、短大生活で学んだことを何か形に残したいと思い、読売書法展に挑戦することを決めました。字数が多い作品は初めてだったので、作品全体をバランス良くまとめ上げるのがとても大変でした。樋口先生のご指導の下、何度も何度も練習し、納得いく作品をつくることができました。

ました。大きな目標を持ち、達成することが出来てとても嬉しく思います。」とこの喜びを語っています。

言語文化「コミュニケーション」科二年

県立五泉高等学校出身（新潟県）

本科では、他短大に類を見ない充実した書道関連科目九科目・十四単位で様々な形でバックアップしています。



太田さん

短大

TOEIC一般受験で短大学生として抜群の好成績

本学ではTOEIC対策科目を履修している学生は必須で年二回団体受験をしていますが、この度個人で一般受験に挑戦し、八〇〇点という高スコアを言語文化コミュニケーション科の二年生が記録しました。

「私が一年次に団体受験した時はあまりよいスコアではありませんでした。九月から六カ月間、本学科のオーストラリア留学に参加し、異国での生活を楽しみながら、帰国後のスコア達成のためマコーレ大学で一生懸命勉強しました。

他国からの留学生とたくさん友達になったので、リスニング力とスピーキング力はかなり力がついたので感じましたが、リーディングに對する力はあまりついたとは思いませんでした。帰国後の団体受験では目標に達せず、とても悔しい思いをしました。言コミ科で週四回のTOEIC対策授業を受けながら単語を中心に勉強しました。また、試験に慣れるために個人でも何度か受験した結果、七月に埼玉会場において個人で受けたときのスコアが八〇〇点となりました。

た。今後も勉強を続け、将来は英語を使う仕事に就きたいと思っています。」

原田佳奈

私立本庄第一高等学校出身（埼玉県）

青柳由美子助教教授は「原田さんは留学中、毎日英語でコミュニケーションを取る努力をされていました。また、常に現状に満足することなく努力を続けていました。これからも頑張って自分の夢をかかえて欲しいと思います。」と語っています。

中高一貫部

防災訓練「なまずⅢ世号」で震度七の地震を疑似体験

災害時の準備を真剣に

中学二年 大竹光



私は防災訓練で伺ったお話を、消火体験と起震車体験を通して、災害、特に地震の恐ろしさを実感しました。起震車で体験した震度七の揺れは、終わってからも足の震えが止まらないほどでした。それでも今回は、あらかじめ揺れることがわかっている上での体験だったので、実際に、突然地震が起こった時のことを考えると、今の自分には何もできないだろうと思う、怖くなりました。今回の訓練をきっかけに、いざという時のために自分で出来ることについて真剣に考えてみようと思いました。また災害時には、人々の協力がとても重要なことだということも学びました。（足立区立梅島小学校出身）



さる九月二十日、十月十一日の二回に分け、北区役所防災課のご協力をいただき「第一回防災訓練」が本館校庭で行われました。防災講話終了後生徒は二班に分れ、起震車「なまずⅢ世号」に乗り実際に震度七の揺れを体験、さらに消火器を使用し、取り扱いのコツを体得しました。二人の生徒の感想を紹介します。

自然の怖さを知って

中学二年 中村明白実



私は、今回「起震車」に乗って、もしこの震度七の地震が本当に起こったとしたら、自分はしっかり対処ができるのかと心配になりました。中越地震の写真を見ても、「自分の町がこの状態になったとしたら」そう考えると、背筋がゾッとしました。でも今回防災訓練をしたお陰で、少し対処法が分かったので、震災がもし起きたら実践したいと思います。パンフレットを読むと、自分のためになることが沢山書かれていて、知識が少しある、それだけでも対処ができるという自信ができました。本当に自然は怖いものですが、その怖さに向き合うことで、一人でも多くの人が助かればと思います。最後に防災訓練はビルや、マンションの中に住む私たちには、すごく大切なことだと今回、改めて思いました。（市原市立菊間小学校出身）



サタデー・プログラム開講科目

| | | |
|-------------|-------------|----------|
| Dr.フォニックス1年 | Dr.フォニックス2年 | |
| 合唱・ミュージカル | 英会話（2年） | コンピュータ |
| 英会話1年 | 理科実習1（前期） | 理科実習（後期） |
| 陶芸 | 料理1（前期） | 料理2（後期） |
| | ガラス工芸 | 茶道（初・中級） |
| | 吹奏楽 | 華道&生活作法 |
| | バスケットボール | ピバ!サッカー |
| | 素材体験クラフト工房 | |

中高一貫部

一貫教育だからこそサタデー・プログラム

今年で十年目を迎える本プログラムは、中学一・二年段階では土曜日に五系統十八プログラムの講座を実施しています。コンピュータから英語力向上、スポーツ系、芸術系と十八講座を用意。活動時間は午前中の二〜四時間、各分野の優れた指導者による指導、ゆとりの中で創造性を育てる教育を実施しています。この講座は自由選択制で例年八十%以上の生徒が熱心に取り組んでいます。

中高一貫部

昨秋目にした「素敵な出来事」

皆さんご承知のように、本館の生徒通用門は、門を入るとすぐに屋根が張り出していて、少しでも雨に濡れないように皆さんを守ってくれる優しい造りになっています。先日皆さんの登校風景を眺めていても感激したことがありません。それは、秋の長雨の続くある朝の出来事です。登校してくる皆さんが、中高男女の別なくほぼ全員、屋根の下で傘を閉じると、その場で外に向って傘を振って水を切り、傘をきちんと束ねてから校舎の中へ入っていくのです。「乗り物には傘を束ねてから乗る」という少し前の日本ではごくあたり前のことも、いつの間にか目にすることは少なくなりました。「傘の水を切り、きちんと束ねてからはいっていく。」「そんなの普通じゃん。」と皆さんは思っているかも知れませんが、「廊下をびしょびしょにしてはみんなに迷惑がかかる。掃除をしてくださる方々に申し訳ない」という気持ちをもっているからこそ出来る事なのです。「あたり前のことを、あたり前にやること」程難しいこととはありません。他者への思いやりの心をもっている東京成徳生の皆さんの行為を目にして、「素晴らしい人間に成長してきているなあ」と感じたのはきっと私だけではないと思います。

中高一貫部

中国修学旅行

中国の広さ

五年 矢萩 奈津美

十月に行われた待望の中国修学旅行は中高一貫部五年が一班、別館高等部は二年が二班、三班と三回に分けて実施され、いずれも四泊五日の日程でした。中国の印象をご紹介します。

高校生活で最も大きな行事のひとつといえば、修学旅行だ。私にとっては初めての海外旅行でもあった。そのため、今回の中国修学旅行は不安も期待より大きかった。



た。実は、初めて中国に行くとき聞かされた時、私ははつきり言ってしまう。オーストラリアが良かったなあ」と何度も思った。校長先生は中国に行く意味を「今、中国はとても勢いのある国です。それを実際に見てくるという経験は大切なことだと思えます。」とおっしゃった。本当に聞くと見るとは大違いだ。実際に中国に行くと、ありとあらゆるもののスケールの大きさに驚かされた。紫禁城にしても万里の長城にしても言葉には言い表すことの出来ないほどの迫力だった。中学生の修学旅行で奈良・京都へ行き、奈良の大仏や法隆寺などの大きさに感心したが、それを上回り中国の世界遺産には圧倒された。中国の町並みも日本と違うところは多く見つけた。日本では見慣れないほどの大きな道路に莫大な数の自動車が走っている。そして、夜になると沢山のネオンが光り、より活気を帯びたように見える。昼は少しほごりっぱいのだが、夜は「きれい」と思わず見とれてしまう。「校長先生」が言っていた勢いはこのことかも知れない」と同時に思った。確かに日本では見えない光景かもしれない。歴史・人口・土地など様々な点で違う国へ行くことで、

自分の世界観、常識、感覚がどれだけ狭いものなのかと改めて思う。このようなことはよく聞かすが、実際に自分の経験になると、考えていた以上に濃く、深く考えさせられる。私はこの修学旅行を自分の視野を広げるきっかけにすることができた。

修学旅行について

五年 鈴木 雄峰

中国に行くと、印象に残ったことについて書く。僕の考えていた中国・北京のイメージと実際に行って感じたことが大きく違っていた。空港からバスに乗ってホテルまで移動した時、道路の広さに驚いた。六車線くらいあり、まっすぐに続いていた。乗用車やバスが沢山走っていた。ホテルが立ち並んでいた。建物と建物の間が日本

と違い、広く空いていて、一つ一つが大きく、ゴミゴミしていないなかつた。ホテルの前の大きな通りは、道幅が広く、とても綺麗だった。日本と違って開放感があった。僕がなんとなく想像していた北京は、大きなビルはなく、もっと田舎みたいで、少し汚い所だと思っていた。しかし行って見ると大都会だった。北京の人たちにはとても活気があった。日本の高度成長は、このような雰囲気だったのかもしれないと思った。日本の高度成長の時よりもインターネットなど、通信、情報の手段が桁違いに発達しているの、中国はもっと急激に変化していると思った。僕を含んで、修学旅行に行った多くの人は中国に対する認識ががらりと変わったと思う。中国にはまた行ってみたい。



別館高等部

中国修学旅行



別館が共学化して四年目の今年、本館と同様に修学旅行先が中国となりました。昨年度までは別館生徒の旅行先は北海道などの国内でしたが、次代を担う青年の育成の一助とするため、旅行先を変更しました。その狙いについて、

校長先生は次のように話しています。「ますます進展する日本の国際化の中で、真の国際人となるためには自己の視点の相対化が必須であり、そのために異文化と接触することは貴重な体験になる。特に二十一世紀はアジアの時代と言

われているが、その中でも中国は国土・歴史・文化・経済規模等あらゆる面で群を抜いている。日中間には不幸な時代もあったが、それらも含めてお互いの認識を深め、問題解決への意識を持ち続けることが大切である。生徒の皆さんには過去（歴史文化等）の中国を見て、現代（生活文化等）を知って、将来（日中間関係等）を考えるきっかけとして欲しい。」さて、このような目的を持ちながら三一〇名の生徒は、元気に成田を飛び立っていったのでした。初日、北京空港に降り立った生徒達は、まず空気の違いに驚いたようです。この時期の北京は雨も殆どなく、乾燥した砂混りの大気が何かの煤煙とともに私たちを覆ってきます。感覚の鋭い生徒達は、この瞬間に日本との距離を感じていたのです。二日目は、故宫博物館（紫禁城）見学、天安門広場散策、胡同めぐり、琉璃 散策という行程で



深谷高等学校

桐蔭祭の巨大壁画が話題

だが、ガイドイヤホンもあり、その内容はよく理解できたようです。迫真の演技には「ハオ！」という掛け声も出ていました。四日目は、イトーヨーカドー現地法人店の見学と王府井散策でした。実際に今の中国を肌で感じてもらうという行程です。イトーヨーカドーでは開店前のミーティングで、日本と同じように声を出して礼の練習をしていました。中国の人がお辞儀をする風景を初めて見た生徒の中には、日本の象徴のような礼法を中国の人にやらせて平気なのかと心配している者もいました。五日目、朝早くホテルを出発し、日本時間の三時には成田に無事到着していました。あつという間の五日間でしたが、後日生徒に聞いたところによりますと、想像以上に中国の文化や人々の生活、意識の差を実感できて、とても貴重な体験になったということでした。

「濃縮還元セイトク果汁一〇〇％」、生徒全員が成徳の良さを一〇〇％出し切ろうという願いをこめた第四十二回桐蔭祭のテーマです。九月十六日、十七日の二日にわたって開催されましたが、目標の二、〇〇〇人を上回る過去最高二、一四四の来場者を記録し大成功でした。来春廃止される本校総合コースの三年生九十九名が「惜別の記念」に製作した巨大壁画が話題を呼び、読売新聞、朝日新聞、埼玉新聞などに記事掲載されました。この縦十二メートル、横十五メートルという壁画は、一cm四方の色紙チップを一カ月以上かかって台紙になんと一八〇万枚張り合わせてクラスメイトとの集合写真を再現した大作です。

深谷高等学校

オーストラリア修学旅行

修学旅行を終えて

一年一組 風間 冨季

オーストラリア修学旅行は二班に分けて実施され、五泊六日の日程でした。長旅の疲れも見せず、みな元気に帰国したようです。学生が感じたオーストラリアの印象です。

平成十八年十一月十一日、私はオーストラリアのシドニーにいました。楽しくてあつという間に過ぎた六日間は、今となっては懐かしい思い出になってしまいました。



した。

多民族国家であるオーストラリアについて、まず思ったことは、せせこましい日本と違い、おほかたでのびのびとした雰囲気を持つているという事です。人も街もどことなく陽気で、太陽がまぶしく、心地よい海風の吹く素敵な所で、私はすぐここが好きになりました。

この修学旅行で私が一番楽しみにしていたのは、現地の高校生との交流会でした。文化も言語も違う人と果たして意思疎通が図れるのかと、前々から危惧していました。しかし、いざ対面してみると、仲良くなりたいたいという気持ちが大きくなって、自然とコミュニケーションをとろうとしていました。私の拙い英語がどのくらい伝わったのかは分かりませんが、最後に彼らが歌を歌ってくれて、本当に嬉しかったです。生まれた所や目の色が違ってても、お互いに分かり合おうとする心があるのだと思いました。

日本に帰ってきて、本当にオーストラリアに行ってきたのかとあまり現実味がわきませんでした。しかし、こうして振り返ってみると、オーストラリアで見た物、体験した事が鮮明に思い出されません。海や夕日や人の心がとてもきれいなこの国に、ワーキングホリ



デーを使ってまた来ようと思いましたが。

修学旅行の思い出

一年H組 新井 勇

平成十八年十一月十一日、私は初めての海外旅行となるオーストラリアへの修学旅行に行ってきました。

当日、胸を躍らせながら飛行機に乗り込んだわけですが、飛行時間は約十時間で、最初から疲れませんでした。

シドニー空港に到着すると、まず最初に動物園に行きました。ここでは、オーストラリアの動物達と戯れることができました。中でも一番嬉しかった事は、コアラに触ることが出来て、一緒に写真を撮れたことです。最初で最後の経験になるのではないかと思いません。

班別自由行動では、レトロチック

クナ町並を観光したり、アボリジニらしき人と写真を撮ったりと楽しむことが出来ました。

また、国立公園を訪れた際には、映画でしか見たことのないような、雄大な景色を目にすることが出来ました。

キングスウッズ・ハイスクールの生徒達との交流はとてもよい経験が出来ました。私のバディは十才だったので、私があまり英語を話せない中で、彼と仲良くなれるか不安でした。しかし、日本のアニメの話をしたり、フットボールをしたりと、次第に打ち解けることが出来ました。

また、バディ以外の人もコミュニケーションがとれて、楽しく過ごすことが出来ました。帰り際には、お別れをいいに来てくれた人もいたので、私はオーストラリアの人々は幼い子供でも、やさしさを持った人々であることを実感しました。

正直、自分の英語がオーストラリアの人々に、理解してもらえていたかはわかりません。話し手の言葉が聞きとれなかったり、聞くだけということもありましたが、それでも自分なりに努力して、現地の人々とコミュニケーションを図れたので、私は満足でき、この六日間は充実していたと思います。

深谷高等学校

本番直前の腕試し
本校独自の特待生認定試験

高校入試のための模擬試験は各校（含進学塾）でそれぞれ趣向をこらして実施しています。本校では平成十年十二月に第一回を実施、今年で十回目ですが年々受験者が増加、スタッフは嬉しい悲鳴をあげています。この特待生認定試験は認定試験の得点に基づいて特待生Aから特待生Fまでの七種類に分けられ、対象コースごとに特典が定められています。ただし本校の入学試験ではありませんので特待生の認定を受けた方はあらためて入学試験（面接のみ）を受験する必要があります。さらにこの試験は埼玉県公立高校の後期入学試験に準じた五教科、同じ時間割で実施されるので「受験前の腕試し」には絶好の機会と昨年は八三四名が受験、十二月十七日（日）に実施された本年は九九八が受験しました。

幼稚園

大盛況の作品展・バザー

十月二十一日（土）～二十二日（日）にかけて行われた恒例の行事は連日大勢の園児・保護者の方々、そして入園希望の見学者親子の来場があり、大盛況でした。正門を入った園庭では「成徳商店」、「楽しいゲームコーナー」、「食品コーナー」などが人だかり、園児たちは大はしゃぎです。お花や動物のネーミングがつけられた各教室では、学年ごとのテーマが定められ、園児たちの素晴らしい発想による展示・イベントにみなさん感嘆！園児のご家族や教職員の力作も展示され来場の方々は大満足の二日間でした。

園児たちが楽しみにしているクリスマス！ 十二月十五日、本館3階の体育館で催されたクリスマス会は広いステージをフルに活用した先生方の熱演に園児たちも興奮。エンディングは暗転の中、現れたサンタさんがプレゼントを配り始めると最高潮。楽しい楽しいクリスマス会でした。

幼稚園

サンタさんが大活躍！

園児たちが楽しみにしているクリスマス！ 十二月十五日、本館3階の体育館で催されたクリスマス会は広いステージをフルに活用した先生方の熱演に園児たちも興奮。エンディングは暗転の中、現れたサンタさんがプレゼントを配り始めると最高潮。楽しい楽しいクリスマス会でした。



第二幼稚園

異世代交流会

第三回目の異世代交流会が敬老の日を目前にした九月十三日に開かれました。園児たちの祖父母、本園が入居している与野ハウスの老人会のみなさまをお招きし、園児全員がお迎えしました。この日にちなんで名付けられた「絵本の部屋」「折紙の部屋」などで遊んでいただき、「年長さん」が心をこめてつくった「小物入れ」のプレゼントを差し上げました。世代の違い・年齢の大きな差も、園児たちの素直なふるまい、可愛い笑顔でアツという間に解消し、心が通いあう楽しいひと時を過ごしていただきました。

第二幼稚園

ハロウィンパーティー

秋も深まった十月三十日、ハロウィンパーティーが行われました。子どもたちは仮装して、年少組から順番にダンボールで作ったお家を一軒、一軒訪問しお菓子をいただきます。その後、本学短期大学のジェニー先生からはハロウィンについてのお話を聞きました。怖いお化けやかぼちゃのランタンを見せていただいたり、英語の歌を歌ったり、異文化に触れ楽しい一日を過ごしました。



クラブ活動の成果

バスケットボール部 中学女子、3年連続日本一の偉業！ 高校女子は連覇ならずベスト4。



8月に四国で開催された2006全国中学校体育大会、本校のチームは9年連続東京都で優勝し、関東大会でも2年連続6回目の優勝を成し遂げてこの大会に臨みました。予選リーグで圧勝、20日春野体育館で行われた準決勝・決勝は立ち見が出る観衆が注目するなか、準決勝は猪子石（愛知）を77-60、決勝では折尾（福岡）を70-43の大差でくだし見事3年連続5度目の優勝という栄誉に輝きました。主将の伊藤由美子さんは、「私たちは入学のときから全国大会3連覇を目標にしてきました。大会史上2度目、本校史上初という形でできたことを嬉しく思います。これもご支援いただいた皆様のお陰だと感謝しています。有難うございました」と目標達成の喜びのコメント。遠香周平監督は「5度目の優勝とはいえ、やはり嬉しさは新鮮です。ここまで培ってきた伝統と栄誉をこれからの選手に引継ぎ、担っていかせたいと思います。これまでのご支援に感謝すると共に、これからもよろしくお願ひします」と語ってくれました。

全国高等学校総合体育大会に出場した高校女子バスケットは、不運なアクシデントが重なり主力選手を欠き、惜しくも準決勝で敗退しました。しかしその旺盛な敢闘は大いに賞賛されました。



バトントワリング部 ジャパンカップ・マーチングバンド・バトントワリング全国大会で優勝！（都知事賞）
都大会第2位・関東大会第3位

ラクロス部（高校） オータムカップ2006で優勝！
MVP 水戸理恵 優秀選手賞 藤沢里枝

| | | | | |
|------------|----------|-------|-------------------------|--|
| 水泳部 | 東京都大会 | 岡田 涼 | 200 m.自由形2位・400 m.自由形3位 | 全国大会へ出場 |
| | 東京都学年別大会 | 岡田 涼 | 400 m.自由形2年男子1位 | |
| | 全国大会 | 久々字謙太 | 100 m.・200 m.バタフライ | 出場 |
| | | 林 真弓 | 200 m.個人メドレー6位 | 400 m.個人メドレー出場 400 m.フリーリレー・400 m.メドレーリレー出場 |

剣道部（高校女子） 玉竜旗高校剣道大会 5人抜き敢闘賞 松田展佳
東京都秋季大会 団体戦1部 第3位

ソフトボール部（男子） 関東大会 第3位

書道部（高校） 高野山競書大会 南山賞 香川愛美

吹奏楽部（深谷高校） 第47回埼玉県吹奏楽コンクールBの部地区大会銅賞
第30回埼玉県アンサンブルコンテストクラリネット8重奏銅賞

秋の イベント特集



【幼稚園】 おいもほり



【高校】 桐蔭祭（東京校）



【第二幼稚園】 うんどうかい



【深谷高校】 桐蔭祭



【高校】 桐蔭祭（東京校）



【八千代キャンパス】 翠樟祭（人文学部）



【深谷高校】 桐蔭祭



【十条台キャンパス】 桐友祭（短期大学・こども学部）



【十条台キャンパス】 桐友祭（短期大学・こども学部）

新刊コーナー

本学園の教員が原則として平成18年に上梓された著書をご紹介します。(順不同)

大学院・大学人文学部

発達臨床教育相談マニュアル

杉原一昭編集 分担執筆 堀内ゆかり
川島書店 4,800円(税抜) 発刊3月20日
発達臨床教育相談で、多様化した子ども問題や障害を正しく理解・把握し、その適切な対応を具体的に示している。第一部で80項目の子どもの問題を取り上げ、第二部でアセスメント法を述べている。

愛と戦いのイギリス文化史1900～1950

共編著 木下誠ほか
慶応義塾大学出版会 2,500円(税抜) 発刊12月15日
2つの世界大戦で「大英帝国」どう変わったか。階級、セクシュアリティ、ナショナリズム、メディアなどの観点から、20世紀前半のイギリスの姿を浮き彫りにした。

「アンニョンハシムニカ？」

ハングル講座(美しい抑揚で話す)

2006年7月～9月 NHK再放送用 イ・ユニ著
日本放送協会 350円(税抜)×3冊(初版は2005年1月)
韓国語のProsody教育を目指したNHK教育番組用テキストです。フレーズに具体的な言葉の音符を付けたのは、韓国語教育の初の試みです。対話文は、最新の文化教育や言語教育の研究の成果を反映し、日本とは異なる韓国文化を理解できる内容になっている。

「イメージで速習 韓国語の発音」

(CAI教材)
イ・ユニ著
株式会社アルク 4月発刊 ※通信販売用教材で定価ない。
通信教材である韓国語マラソンのDVD発音教材です。発音の化石化(fossilization)を防ぐためには入門時の発音教育が大切です。聞いてまねをする音声教育は時代遅れ！目で見て自分との違いを確認しながら学習する発音専門の教材です。

聴覚障害者教育の基本と実際

分担執筆 中山哲志
田研出版株式会社 2,500円 発刊7月26日
聴覚障害教育における初等教育段階の教育内容と方法について執筆。言語発達とその指導、教科指導や社会性の育成について論じた。

精神保健福祉白書

分担執筆 中山哲志
精神保健福祉白書編集委員会 編集
中央法規 発刊12月10日 2,400円
現在の精神保健福祉の現状を報告する白書の一部を執筆。

「心理学の先生が教える

「読む」だけダイエット

共著(市村操一・小澤まや)
三笠書房 542円(税抜) 発刊5月20日
過食を防ぎ、無理のないダイエットをするための心理学の原理と、それを応用してダイエットを実行して成功した体験談。

「なぜナイスショットは練習場でしか

出ないのか～本番に強いゴルフの心理学」

市村操一著
幻冬舎 777円(税抜) 発刊11月30日
スポーツ心理学の実証的研究に基づいたゴルフのメンタルコンディショニング。プレッシャー、雑念、迷い、怒り、不注意を克服して、実力を発揮する心理技法について解説。

人間関係がラクになる心理学(愛蔵版)

國分康孝著
PHP研究所 476円(税抜) 発刊9月22日
人間関係に疲れていないための心得を提示している。推論で悩まず、事実に基いて悩む。
自分のホンネに忠実な生き方が人とのふれあいを育てる。このような考え方やアクションのとり方を論理療法の観点から提言している。

構成的グループエンカウンターと教育分析

共著(國分康孝・國分久子・片野智治)
誠信書房 2,100円(税抜) 発刊4月22日
カウンセラー自身の性格のくせは、人の相談を受けるときの妨げとなる。このくせに気づくには、教育分析を受けることを薦めたい。合宿性の構成的グループエンカウンターには教育分析の機能がある。その理論と実際を本書は語る。

社会性を育てるスキル教育(中学生用全3巻)

國分康孝監修 編著 清水井一
図書文化 各2,200円(税抜) 発刊11月1日
中学生に立居振舞、考え方、思いやりなどを教育するのに有効なプログラムの開発と解説を内容としている。

グラフィック乳幼児心理学

共著 堀内ゆかり ほか3名
サイエンス社 2,400円(税抜) 発刊10月10日
10年以上にわたって好評を博したベストセラーテキスト「乳幼児心理学」を最新の情報・研究成果に改定し、2色刷りのグラフィカルな1冊にまとめたおもしろいもの。
感覚・運動機能、認知機能、言語、情動、性格といった基礎領域から親子関係、生活と遊び、社会的要因まで幅広く解説した。

子どもは素晴らしい

牛尾信也(監修) 分担執筆 堀内ゆかり
金原出版 3,800円(税抜) 発刊10月10日
子育ての父母向きに、乳幼児期の①発達の様子②家族や大人の関わり方③病気の時の対処法や適切な診療科の選び方④難病や困った時の窓口などを解説。日常的な関わり方から、いざという時まで役に立つ育児辞書。

教育評価辞典

(監修) 辰野千尋・石田恒好・北尾道彦
堀内ゆかり分担執筆
図書文化 6,000円(税抜) 発刊6月25日
教育評価において児童の評価はもとより、学校評価、教師評価など新しい課題が求められる今日、教育評価の研究にも、教育問題の解決にも役立つ、223名の教育研究関係者らによって執筆された最新の体系的な教育評価辞典。

子ども学部

キャンプディレクター必携

共著 浦田憲二 ほか
(社)日本キャンプ協会 2,000円(税抜) 発刊4月
(社)日本キャンプ協会が養成するキャンプディレクター～養成テキストとして発行されたもので、キャンプの理念、プログラム、指導法などについて編集されている。

短期大学

「シネマで旅する世界の街」

秋山秀一著
DAI-X出版(ダイエックス出版) 1,600円(税抜)
「あの映画のあの場所に行きたい」。ローマ、ミラノ、ヴェネツィア、パリ、アテネ、リスボン、シアトル、ニューヨーク、香港、北京など世界の24都市を巡り、映画の撮影地を実際に訪ね、かつて観た名シーンの舞台となった都市・街角を文章と写真で旅するガイドブック。

「冷泉家時雨亭叢書70 承空本私家集中」

共著 藤田洋治・久保木哲夫・新藤協三・田中登
朝日新聞社 32,500円(税抜) 発刊3月
冷泉家時雨亭所蔵の古典籍シリーズの一つ。承空が鎌倉時代後期に書写した私家集(重要文化財)の影印に、開設をつけたもの。担当は、義孝朝臣集、為信州、御形宣旨集、時明集、朝光集断簡の5点

「公忠集全釈」

共著 藤田洋治・新藤協三・河井謙治
風間書房 7,815円(税抜) 発刊5月
三十六歌仙の一人、能吏で知られる源公忠の家集に注釈を加えて、さらにその周辺の考察を加えた。

マーケティング・コミュニケーション大辞典

共著 日本のマーケティングと広告に携わる学者220名が手掛けて完成。本学から松坂たかよし 野口禎一郎 松井陽道の3名が参加
宣伝会議 16,800円(税抜)
21世紀に入り、情報技術の進化やグローバル化そして市場化は著しく、企業のマーケティング・コミュニケーション活動に変革を迫っているという時代の要請に応えての出版。

いのちの絵本

「あかちゃんが教室にきたよ」

文 寺田清美・鈴木良東 写真 星川ひろ子
岩波書店 1,360円(税抜) 発刊2月
小学校で「赤ちゃんとのふれあい」の授業を1年間(8回)継続した様子を紹介した写真絵本。人と人とのつながりが希薄だといわれる今日、この授業を通じてみんなの心がつながっていく様子が、ほのぼのと伝わってくる。乳児の1年間の発達が学べる1冊である。

「環境福祉学の理論と実践」

炭谷茂環境庁事務次官編著 寺田清美は第6章環境福祉教育を執筆
環境新聞社 2,625円(税抜) 発刊9月
東京成徳短大のゼミ生23名と附属高校の生徒24名が、あかちゃんとその母親と一緒に「乳児子育てバリアフリー」の調査をしたことにより、地域環境福祉に対して興味関心を持ち自主的な改善活動につながる課程を論じた。

「ようこそ！絵本の世界へとおきの

1冊とめぐりあうために」

編者 内田伸子 寺田清美 分担執筆
学燈社國文学 1,500円(税抜) 発刊4月
絵本とは言葉や文字を教えるものではなく、親子で手とりあい絵本の世界を共有するものである。絵本のことははりズミカルで、「声に出して読みたくなるような」美しい響きは体感できるものであることの重要性を論じた。

「OEDの日本語378」

監修 福田陸太郎 橋本禮子ほか本学英文専攻の教員が執筆
論創社 6,800円(税抜)
世界最大の英語辞典「オックスフォード英語辞典第2版」に載った日本語の個々について考察することによって、日本が西洋世界に紹介されていった軌跡を明らかにした試みである。

創立八十周年記念事業

寄付金収支報告

学園が平成十七年に創立八十周年を迎えるに当り、左記の記念事業を計画いたしましたところ、学園後援会、設置各校の同窓会・PTAなどが中心となり、「東京成徳学園創立八十周年記念事業協賛会」が設立されました。この協賛会では、全学園を挙げて祝意を表し、記念事業に協賛することを、関係各位に広く呼びかけていただきました。

お蔭様で、募集期間の終了した前年度末

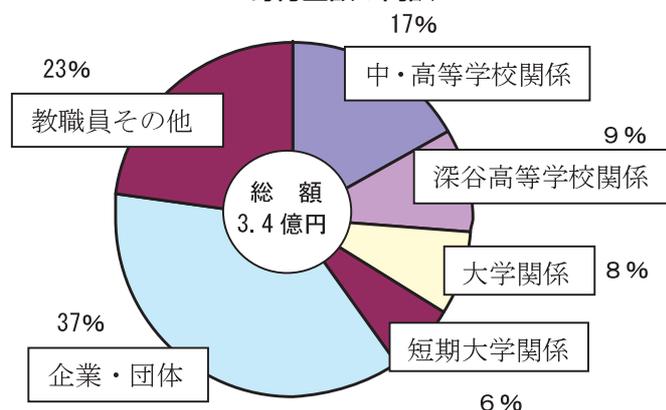
までに、個人三、三二〇先、企業・団体一四五先、合計金額三億四、一七四万七、五九八円と、多数の方々から多大なご厚情を賜ることができました。ご厚志に厚く御礼申し上げますとともに、ご芳名を未長く留め、感謝の意とさせていただきます。

皆様から賜りました寄付金の全額は、平成十四年度から十七年度にわたり総額四十四億円をかけて実施された、記念事業の一部として大切に使用させていただきました。各校の教育研究について、その内容と環境が一層整備充実がされましたことを、ご報告いたします。

80周年記念事業（抜粋）

| 部門 | 事業内容 | 事業年度 |
|-----|----------------------|--------|
| 本部 | 記念式典の挙行、記念誌の発行 | 平成17年度 |
| 大学 | 運動場照明設備の設置、校舎改修 | 平成14年度 |
| | 開学10周年記念講演会・公開講座の開催 | 平成15年度 |
| | 大学院博士課程の設置 | 平成15年度 |
| 短大 | 十条台新校舎の建設 | 平成14年度 |
| | 子ども学部設置 | 平成16年度 |
| | 創立40周年記念式典の挙行 | 平成17年度 |
| 中・高 | 創立80周年記念式典の挙行 | 平成17年度 |
| 深谷 | 新体育館の建設 | 平成14年度 |
| | 創立40周年記念式典・落成式の挙行 | 平成15年度 |
| 幼稚園 | 創立50周年記念式典の挙行、記念誌の発行 | 平成15年度 |
| 第二幼 | 園舎の一部リニューアル | 平成17年度 |
| | 創立30周年記念式典の挙行 | 平成17年度 |

寄付金額の内訳



(注) 各校関係者には、在校生・卒業生及びその保護者などが含まれます。

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

大学院 心理学研究科臨床心理学専攻 <http://www.tsu.ac.jp/gra>

人文学部 日本伝統文化学科 国際言語文化学科

東京成徳大学

福祉心理学科 臨床心理学科 <http://www.tsu.ac.jp>

子ども学部 子ども学科 <http://www.tsu.ac.jp>

東京成徳短期大学

専攻科幼児教育専攻
言語文化コミュニケーション科 幼児教育科 ビジネス心理科 <http://www.tsc.ap.jp>

東京成徳大学中学・高等学校

本館（中高一貫部） <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/tokyo-hs>
別館（高等部）

東京成徳大学深谷高等学校

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/fukaya-hs>

東京成徳短期大学附属幼稚園

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind>

東京成徳短期大学附属第二幼稚園

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind>

学校法人 東京成徳学園
法人本部企画調査室

〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500
東京成徳広報 第21号 平成19年1月発行